

ACANTHUS NEWS



平成15年 2003.6

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第80号

3センター設置を祝う

学際科学実験センター，総合メディア基盤センター，大学教育開発・支援センター

TOP NEWS



学際科学実験センターの看板
上掲式とあいさつする山口和男
センター長

5月8日，この4月に新設された「学際科学実験センター」，「総合メディア基盤センター」及び「大学教育開発・支援センター」の看板上掲（除幕）式及び記念祝賀会が行われた。上掲（除幕）式，記念祝賀会には，林勇二郎学長をはじめ各副学長，各センター長ら学内関係者が多数出席し，学内の教育研究支援体制の整備強化を祝った。



総合メディア基盤センター除幕式と
あいさつする長野勇センター長



大学教育開発・支援センター除幕式
とあいさつする畑安次センター長

巻頭言

変わる事と変わらない事



理学部長
大村 明雄

学生時代を含めると、私の本学在籍期間は40年を越えた。人生の半分以上をこの大学で過ごすことになりそうだ。今頃になって、これまでの大学生活を振り返りながら考える事が多くなった。歳のせいかも知れない。しかし、昨今、身の回りで起る変化が、生まれながらに備ったバイオリズムに合わないのかも知れないと思うようになった。

経済不況の深刻化や多発する重犯罪、さらにSARSの蔓延等々のニュースを見聞きするにつれ、閉塞感が頭の中を駆け巡る。世界中が混沌状態にある今、誰もが、そこから抜け出そうと足掻いているようだ。テレビコマーシャルのキャッチコピー「変らなきやも変らなきや」や「変わるってドキドキするよ」の心境になれば幸せなのだが、なかなかそうはなれない。

私の専門は地質学。途方もなく長い間地層中に保存されてきた自然情報を掘り起こし、自然界の仕組みや営みを解

き明かす基礎自然科学“理学”の一分野である。地質学の研究やそれ固有の技能を生業にする者は、地質屋と自称する。時折「地質屋は見てきたような嘘を言い」と揶揄される人種でもある。「誕生以来、46億年間変化し続けてきた地球上のある出来事を解き明かした」と真剣に語れば語る程、聴衆は、「面白いけれど、日常生活に役立つわけでもないし、その正否を確かめる術を持たないから」と、“standing ovation”を躊躇してしまう。一方、語る側も、必ずしも100%自信があるわけではない。いつの時も、地層から採り出した証拠が、数億年～数千年前といった遠い地質時代から現在まで、続成変質されずに保存されてきたかを不安に感じながら語らなければならないからである。その事を見極めないと、折角の発見が宙に浮いてしまう。自然史学の一翼を担う地質学は、そんなスリルに満ちた学問分野である。

私に残された本学在籍期間は、数えるのに片手も要らなくなった。しかし、これからも、今まで通り、ハンマーで思い切り地球を叩き、変わらないまま保存されてきた地質情報だけを選びすぐり、“地球の変わり方”を学び続けたいものだ。

目次

3センター設置を祝う	
学際科学実験センター、総合メディア基盤センター、 大学教育開発・支援センター	1
変わる事と変わらない事	2
国立8大学理学部長会議	3
駐日オランダ大使が特別講演	3
第76回日本整形外科学会学術集会	3
第3回北陸地域アイソトープ研究フォーラム	4
第2回バイオサイエンスシンポジウム	4
先端研究フォーラム	4
海外調査報告会	5
労働安全に関する講演会	5
社団法人日本ゴム協会 第50回優秀論文賞	5
名誉教授称号記授与式・懇談会	6
「健寿会」総会・懇親会	7
外国人留学生がホームビジット	7
学長研究奨励費研究結果発表会	8
学生企画授業「恋愛論」	8
Webによる履修登録を開始	8
なんでも相談室「履修相談員」を表彰	8
教員採用試験 直前対策ガイダンス	9
学生寮で消防訓練	9
大学見学会	9
ネットで運動会生中継 - 附属中学校 -	9
医学部附属病院で医療費自動精算機稼働	10
「ふれあい看護体験」「ふれあいコンサート」	10
本学へのお客さま	10
ミニ講演「里山の魅力」	11
平成15年度公開講座はじまる	11
北谷で田植え一角間の里山自然学校	12
北陸地区国立学校等初任者研修	12
編集後記	12

トピックス



金沢市内のホテルで行われた理学部長会議

国立8大学理学部長会議

5月8日、本学を当番として、第64回国立8大学理学部長会議（千葉大、お茶の水女子大、新潟大、神戸大、奈良女子大、岡山大、熊本大及び金沢大）が開催された。

会議では、教員の任期制導入をめぐる各大学の動きと理学部の対応、自然科学研究科における研究部・教育部構想の有無、国立大学法人法への対応等が協議された。

また、学部長会議に先立ち、5月7日には国立8大学理学部事務長会議が開催され、法人化後の事務処理体制について討議が行われた。

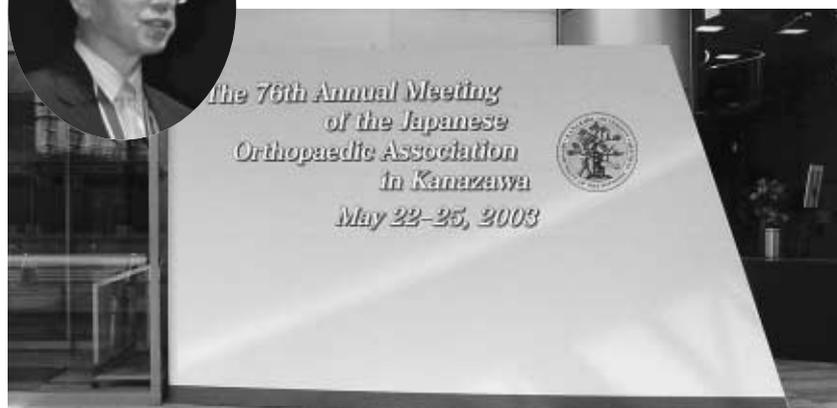
駐日オランダ大使が特別講演

5月19日、エヒベルト・フレデリック・ヤーコプス駐日オランダ王国特命全権大使による「オランダとEU ～これからの日蘭関係強化をめざして～」と題する特別講演が開催され、教職員・学生150名余りが聴講した。

大使は、EU（欧州連合）内でのオランダの役割やEUの最新動向、EU域内市場と北東アジアの関係などについて講演。オランダと日本との経済・文化を中心とした友好関係の重要性を訴えた。

講演するヤーコプス大使と聴講する教職員・学生
＝文・法・経済学部A201講義室

第76回日本整形外科学会学術集会

開会式であいさつする富田教授
＝5月22日、石川県立音楽堂

5月22日～25日、石川県立音楽堂や金沢市内のホテルを会場に、日本整形外科学会学術集会（会長：医学系研究科富田勝郎教授）が開催され、国内外の医師や研究者ら約6千人が参加した。金沢でこの学会が開催されるのは30年ぶり。学会は「Human Orthopaedics Now!」をメインテーマに、人工関節やリウマチ、スポーツ障害に関するシンポジウムや、骨のがん、ひざや腰の痛みに関する約1400題の研究結果が発表された。

5月のニュース

第3回北陸地域アイソトープ研究フォーラム

5月16日、「第3回北陸地域アイソトープ研究フォーラム」が開催され、東北大学大学院理学研究科長 鈴木厚人 教授による「ニュートリノで素粒子、宇宙、地球を探る」と題する講演会を行った。このフォーラムは、2002年のノーベル物理学賞受賞者小柴昌俊・東京大学名誉教授に教えを受けた鈴木教授から、ニュートリノについて医薬科学の研究者・学生にわかりやすく講演してもらおうと計画された。

フォーラムには、金沢大学を始めとする北陸三県の大学の教職員・学生、石川県関係者ら400名余りが参加した。



ニュートリノについてわかりやすく説明する鈴木教授
＝医学部十全講堂



基調講演する山本教授
＝工学部秀峯会館中会議室

第2回バイオサイエンスシンポジウム

5月9日、学部間の垣根を越えたバイオサイエンス研究の交流と企業への情報提供を目的に「第2回バイオサイエンスシンポジウム」が開催され、学内外から約70名の研究者・企業関係者が参加した。

シンポジウムでは、医学系研究科山本博教授の基調講演、引続き5名の若手教官による講演があり、活発な質疑応答が行われた。

先端研究フォーラム

5月24日、4月のフォーラムに続いて4回目となる金沢大学先端研究フォーラムが開催された。これは本学研究者間の情報交換と研究の活性化を目的に開催しているもので、今回は各部署の研究者6名が先端研究を発表し、34名の研究者・学生が参加した。



発表を行う研究者
＝総合メディア基盤センター プレゼンテーション室

海外調査報告会

教育改善推進事業として1～2月に行われた海外の高等教育機関調査の報告会が、5月30日開催された。

井上英夫及び横山壽一両学長補佐から「オーストラリア・ニュージーランドの大学運営実情調査」

について、また松坂浩史大学改革推進室事務室長（総務課長）から「フランス・イギリスにおける大学職員の専門職化調査」について報告があった。



報告する井上（左）、横山（右）
両学長補佐
同 松坂浩史大学改革推進室事務室長
（下）
＝事務局大会議室



労働安全に関する講演会

工学部は5月20日、労働衛生コンサルタント事務所プライム代表の木田哲二医師による「大学と安全」と題する講演会を開催した。これは、平成16年度から適用される労働安全衛生法に対応するための基本方針やその実務に関して、教職員の理解を深めようといわれたもので、工学部及び石川工業高等専門学校から約70名の教職員が参加した。



講演に熱心に聞き入る教職員
＝工学部秀峯会館中会議室



内山教授（左）と岩井助手（右）、中央は共同受賞者

社団法人日本ゴム協会 第50回優秀論文賞

5月15日、工学部内山吉隆教授及び同岩井智昭助手は、社団法人日本ゴム協会から第50回優秀論文賞を受賞した。

日本ゴム協会誌に発表された論文「シリカ配合およびカーボン配合SBRの摩擦機構に関する研究」が評価されたもの。

5月のニュース

名誉教授称号記授与式・懇談会



林学長から称号記を授与される新名誉教授
＝金沢市内のホテルで

5月29日、名誉教授称号記授与式が開催され、本年度新たに名誉教授となった11名（当日出席者9名）に称号記が授与された。

引き続き名誉教授懇談会では、最近の本学の研究動向を知らせる趣旨で、自然科学研究科早川和一教授から「21世紀COEプログラム『環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測』の展開」と題する講演が行われた。また、林学長から本学のハード・ソフト両面の整備状況と今後の計画、大学改革に向けた様々な取組みについて説明し、名誉教授各位の支援を要請した。



名誉教授を前に講演する早川教授



大学改革の取組みについて説明する林学長



式典に欠席の新名誉教授は、藤田 繁（文学部）、清田明夫（法学部）の2氏

「健寿会」総会・懇親会



寿杯を贈られ、お礼を述べる会員
=金沢市内のホテル



あいさつする林学長

5月17日、教官を除く金沢大学の退職者で組織されている「健寿会」(会長・林学長、会員405名)の平成15年度総会と懇親会が開催され、約80名の会員が出席した。

総会では、林学長が、国立大学法人への移行に対する大学の取組みについて説明し、会員の理解と支援を要請した。また、喜寿・古希の寿杯が14名に贈られた。

懇親会では、現職の部課長らも加わり、思い出話や近況を語り合い旧交を温めた。



曳山を引く留学生



新緑の那谷寺見学

外国人留学生がホームビジット



お点前拝見

5月17日、18日、外国人留学生に日本語や日本文化への理解を深めてもらうホームビジット事業が行われ、留学生21名が参加した。那谷寺を見学、茶道に挑戦、お旅まつり(小松市)で曳山をひいた後、ホームステイ先で日本人家庭との交流を楽しんだ。

動 き

学長研究奨励費研究結果発表会

5月7日、平成14年度学長研究奨励費受給学生による研究結果発表会を開催した。

学長研究奨励費は、学部学生による優れた研究活動を奨励するため、研究に必要な物品等を援助（1件30万円）するもので、平成14年度は53件の応募の中から10件の個人研究及びグループ研究が採択された。

発表会では、学長から激励の言葉の後、「ITを使った過疎地域、中山間村における地域活性化の研究」などユニークな成果が発表された。



プログラム開発言語に関する研究発表を行う教育学部の研究グループ
=総合教育棟C9講義室



問題提起する3年生
=5月16日、「まちなかゼミナール開催奨励制度」を利用して金沢市中央公民館で行ったゼミ

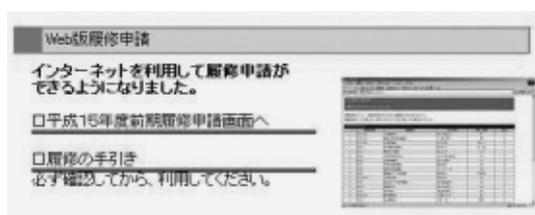
学生企画授業「恋愛論」

教養教育機構では、前期教養的科目の授業として、学生企画によるゼミ「恋愛論」を開講している。これは、学生が主体的に関わる授業を行おうと、授業改革の一環として計画されたもので、1年生を対象とする授業を3年生の学生が企画した。

ゼミは、学生たちの大きな関心事である恋愛を語ることで、自分自身を深く考えていこうと、毎回テーマを決めて討論を行っている。

Webによる履修登録を開始

今年度からWeb版履修申請システムによる履修登録を行い、このほど15年度前期手続が完了した。対象学生は、学部（前期のみ2年次以上）、大学院修士課程（博士前期課程含む）、専攻科、別科の全学生で、従来の用紙による登録方法も残し学生の利便性の向上を図っている。登録期間中は院生、学生課職員が操作方法をアドバイス。登録はスムーズに進み、利用した学生からも好評であった。



Web版履修申請画面

なんでも相談室「履修相談員」を表彰

教養教育機構では5月28日、なんでも相談室「よるまっし」の履修相談員の表彰式を行った。履修相談員は新入生の履修に関する相談を行うため、今年初めて学部生7名を任命したもので、4、5月には数多くの相談が寄せられた。



田中一郎機構長から表彰状を受け取る履修相談員
=教養教育機構長室

教員採用試験 直前対策ガイダンス

5月8日、12日及び15日の3日間にわたり、7月に実施される公立学校教員採用試験を前にして、教職を目指す学生を対象に教員採用試験直前対策ガイダンスが開催された。8日は講師から採用試験に臨むにあたっての注意点について講演があり、その後5班に分かれて本番さながらの模擬面接が実施された。12、15日は各人が志望する県の面接票の添削が行われた。



模擬面接を受ける参加者
=5月8日、教育学部302講義室

学生寮で消防訓練



消火訓練を行う寮生

5月17、24及び31日、白梅寮、北溟寮及び泉学寮の消防訓練が順次行われた。訓練では、非常階段からの避難訓練、消火器による消火訓練、ベランダからの避難訓練等が行われ、万一の際の備えとした。



昇降機によりベランダから避難する寮生
=5月24日、北溟寮

大学見学会

5月28日、富山県内の高校生が入試課職員の案内で角間キャンパスを見学した。学校単位で見学を希望する高等学校は、毎年20校余りに上っている。



キャンパスを見学する高校生
=総合教育棟前

ネットで運動会生中継 — 附属中学校 —

附属中学校は、5月29日に開催された運動会の様子をインターネットで生中継した。通信会社の実験に協力する形で、



運動会現場（写真左）とネットに映し出された運動会の様子（写真右）

仕事のため来ることのできない保護者や、遠距離の祖父母に観戦してもらうために実施した。



附属病院



稼動に先立つリハーサルで自動精算機での支払いをする利波紀久病院長

医学部附属病院で 医療費自動精算機稼動

医学部附属病院では、このほど患者サービス向上の一環として、自動精算機3台と会計順番案内表示装置が稼動した。これにより、患者の支払い待ち時間の短縮や、マイクで呼び出しをしないことによりプライバシー保護も図られることが期待される。この自動精算機と会計順番案内表示装置は、財団法人済美会より寄附されたもの。

「ふれあい看護体験」 「ふれあいコンサート」

医学部附属病院では、「看護の日（5月12日）」を中心とした看護週間に「ふれあい看護体験」、「ふれあいコンサート」が行われた。

10日は親子2組が、13日は高校生4名が先髪や清拭などの看護体験を行い、看護師を目指す高校生は絶対に看護師になりたいと感想を述べた。

また、10日には今回初めて医師と看護師によるコンサートを聞き、多くの患者さんとのふれあいの機会となった。

看護体験の親子と患者さんを前にコンサート



血圧測定を体験する親子



本学へのお客さま



特別講演のために来学した
ヤーコプス駐日オランダ王国
特命全権大使（中央）と同夫
人（右）
=5月19日、学長室

大学開放



ミニ講演 「里山の魅力」

- 月 日：5月10日
- 講 師：佐川哲也教育学部助教授
- 場 所：金沢大学サテライト・プラザ
- テレビ会議システムによる「金沢大学遠隔講座」受信会場：輪島市文化会館
- 来場者：30名

平成15年度公開講座はじまる



大人の造形遊び ―クレーアニメーション―
=5月17日, 金沢大学サテライト・プラザ



奇跡のホルモン・メラトニンを合成してみよう
=5月10日, 薬学部薬化学研究室



留学生教育への扉
=5月24日, 大学教育開放センター講義室



簡単な材料のできる手作り楽器教室
=5月10日, 教育学部芸術棟音楽ホール

北谷で田植え —角間の里山自然学校—

5月17日、角間の里山メイトがこの春から準備してきた里山ゾーン内の北谷（きただん）の水田に田植えをした。この谷での田植えは大学用地となる前の昭和59年が最後で、19年ぶり。イネの品種はカグラモチで、うまく収穫できれば秋に「モチ」や「おはぎ」が食べられる予定だ。

角間の里山自然学校では、第2・4土曜日に北谷などで里山活動に取り組む仲間を募集している。



講師の話に耳を傾ける受講生



北陸地区国立学校等 初任者研修

5月27日から30日まで、北陸地区の国立大学、高専の新規採用職員（5機関から39名）を対象として、本学と辰口共同研修センターを会場に初任者研修が実施された。

研修生は、公務員としての基本的事項とともに、国立大学の法人化や産学連携に関する講義を受け、応接マナーの実演などに取り組んだ。

すごろくゲームを通して接遇について学ぶ受講生
=5月29、30日、辰口共同研修センター

編 集 後 記

今月号の編集後記は、生涯学習係が担当する業務のお知らせとさせていただきます。

大学教育開放センターでは、今年も各学部等の先生方のご協力を得て22の公開講座を実施します。内容は、専門・職業分野、現代的課題、一般教養、趣味・スポーツとバラエティに富んだものとなっています。

「学びへの誘い 金沢大学公開講座 ご案内」をご一読いただき、自分の学びたいという気持ち、学べる喜びを感じてください。生き甲斐のある自分づくりはあなたの自身の手で……。大学教育開放センターはそのお手伝いをさせていただきます。

「学びへの誘い」の文字どおり、あなたの生涯学習への誘いの一歩となれば幸いです。

（総務部企画広報室生涯学習係長 山本 恒夫）

平成15年 6月20日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉
（アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）=general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。